



QRコードから過去の振興区だよりがご覧になれます。

第11回上野池クリーン作戦を行いました。

例年になく冷え込む中、令和7年3月17日(月)に、多くの皆さんに心地よく花見に訪れていただけるよう、庄原自治振興区・庄原まちなか観光会議・庄原さくらフェスティバル実行委員会・上野池水利組合・庄原青年会議所のメンバー44人が参加し、空き缶等不法投棄ごみの回収を行いました。回収結果は燃えるゴミ6袋、不燃ごみ4袋でした。皆さん大変ご苦労様でした。



3月役員会報告

議題

- (1) 役員選考委員会経過報告
- (2) 令和6年度事業報告・決算見込みについて
- (3) 令和7年度主な事業計画(案)について
- (4) 令和7年度一般会計予算(案)について
- (5) 第17回区民グラウンドゴルフ大会について

(3月25日) 協議事項等は次の通りです。





庄原観光推進機構 (DMO) 主催「E-バイク歴史探訪」



“宮内・宮の下地域の石造を訪ねて”

庄原自治振興区「出前講座」

3月1日(土)は、少し肌寒い中ですが、晴天に恵まれ春の心地よい風が吹く中、9人の参加により今回も、電動アシスト自転車(e-bike)で歴史散策ツアーが開催(DMO主催)されました。

10時に庄原自治振興センターに集合し、市街地から宮内方面に向けてスタートしました。

宮内多目的研修所(伝神福寺ジオラマ見学)～宮内八幡神社～上野池掘鑿碑～丑寅神社境内(庄原村刻銘石造鳥居・製糸燈籠)～火村靈神之碑～宝蔵寺境内(芭蕉句碑・宝篋印塔)を散策しました。今回も地域マネージャー・歴史文化継承委員の奥田虎昭さんの歴史ガイドにより、散策地域にある石碑・区碑・燈籠・鳥居などの石造にまつわる歴史的経過・価値など興味深い説明をいただきました。今回は、何気なくとおり過ぎていた・見過ごしていた「石造」が地域に果たしてきた役割や価値を再発見できた散策ツアーでした。

12時に全員、自転車の軽やかな走りに感動し庄原自治振興センターに帰ってきました。



街中探訪



伝神福寺ジオラマ



八幡神社



上野池掘鑿碑



丑寅神社境内



製糸燈籠



芭蕉句碑



第19回 庄原地区体育協会グラウンドゴルフ大会

令和7年3月23日（日）春の陽気に包まれる暖かい日に、上野総合グラウンドでグラウンドゴルフ大会を開催しました。66名の方に参加いただき、熱戦を繰り広げられました。

個人の部では、藤川光昭様（川手）スコア 56、団体の部では、川手 A チームスコア 376 で優勝されました。

多くの方に参加いただき、誠にありがとうございました。

来年度も、スローピッチソフトボール大会・グラウンドゴルフ大会・モルック大会を企画していきますので、ぜひご参加ください。



「JR 芸備線の今と未来を考える 沿線住民団体サミット」が開催されました!!

～遊びつくしましょう。つなぐ☆つながる☆芸備線～



令和7年3月23日（日）多目的ホールにおいて、「芸備線魅力創造プロジェクト」の主催で広島市から新見市までの芸備線沿線住民団体 21 団体約 100 人が結集し、庄原自治振興区は、沿線住民団体として参加し、芸備線と地域の今後の課題や取り組みについて交流を深めました。

最初に、「三江線、廃線その後」と題して「江の川鐵道」事務局長の森田一平さんから、「なぜ廃線となったのか」「廃線前後の地域の変容」そして、廃線後の「トロッコ列車」の運行への取り組みなどを話されました。その後、グループに分かれ「ワークショップ」が行われ、各団体から「廃線に抵抗する機運づくりと地域の取り組み」に向けた多くの意見を出され、「沿線住民の連携を深め、もっと芸備線を楽しみましょう、遊びつくしましょう。つなぐ☆つながる☆芸備線」アピール文を採択し閉会しました。

出場者募集！

第17回 区民グラウンド・ゴルフ大会

日 時：令和7年6月1日（日）

受付開始：8時～

開 会 式：8時30分～

場 所：庄原市上野総合公園陸上競技場

申込締め切りは5月9日(金)です。各自治会長にお問い合わせください。

申込書は、4月4日に
回覧しています！

子どもたちの
参加をお待ちしています!!

お楽しみコーナー

ホールインワン賞・ラッキー賞・子ども参加賞など多く用意しています。

5月の振興区主催行事予定

13日(火) 理事総務企画室合同会議 13:30～

20日(火) 環境美化防犯パトロール 9:00～
(宮内・永末・大久保東・西・美湯ハイツの自治会長)

20日(火) 令和7年度
庄原自治振興区通常総会 13:30～

27日(火) 役 員 会 13:30～

毎週1回

「あいさつ・声かけ運動」

〔主催〕

庄原地区青少年健全育成協議会



編 集 後 記

「暑さ寒さも彼岸まで」と言いますが、春分の日あたりからそれまでの寒さが嘘のように「暖かい」を通り超えて汗ばむような気温の日が記録されるようになりました。そういえば、一月上旬、ラジオを聴いていると出演している気象予報士の方が、「巳年は冬寒く、夏暑いです。12年前も24年前もそうだったので今年もそうなると思います。」と言われていました。聞いたときは冗談程度に受け取っていましたが、本当に冬が例年以上に寒く、またこのところの急な気温上昇を考えると冗談では済まないと思いだしました。そうすると心配なのが熱中症です。熱中症と聞くと真夏の症状と思われがちですが、5月あたりから発生します。特に今年のように寒い日が遅くまで続くと、急激な気温上昇に体がついていかず、30℃未満でも熱中症になることがあります。今のうちから、汗をかく練習をして熱中症の予防し、暑い夏に備えましょう。

田邊 記